

産業建設常任委員会

日 時 令和6年9月12日（木）午前10時から

場 所 全員協議会室

議 題

1 付託案件（3件）

- (1) 議案第64号 令和6年度射水市水道事業会計補正予算（第2号）
- (2) 議案第65号 令和6年度射水市下水道事業会計補正予算（第2号）
- (3) 議案第73号 動産の取得について（道路課）

2 報告事項（5件）

- (1) （仮称）射水市ビジネスサポートセンターの業務委託に係る公募型プロポーザルの実施について
(産業経済部 商工企業立地課 資料1)
- (2) 道の駅新湊等大規模改修工事に係る平面計画（案）について
(産業経済部 観光まちづくり課 資料1)
- (3) 令和5年度射水市水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料1)
- (4) 令和5年度射水市下水道事業の決算見込みについて
(上下水道部 上下水道業務課 資料2)
- (5) 作道第1排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について
(上下水道部 下水道工務課 資料1)

3 その他

(仮称)射水市ビジネスサポートセンターの業務委託に係る
 公募型プロポーザルの実施について

1 (仮称)射水市ビジネスサポートセンター設置の目的

市内中小企業の経営支援をはじめ、市内に高等教育機関が多数ある立地を生かし、学生の起業・創業を支援することにより市内産業の活性化を図るとともに、学生と市内中小企業との交流による新たなビジネスチャンスの獲得や、将来を担う学生の就業意欲の向上を目指すため設置するもの。

2 サウンディング型市場調査等の実施結果について

(仮称)射水市ビジネスサポートセンターの設置に向け、民間事業者の意向等の把握や商工団体等からの意見聞き取りにより、公募条件を整理するため、実施したもの。

(1) 日程等

日 程	内 容
令和6年6月24日(月) ～7月8日(月)	実施要領の公表
7月18日(木)～ 7月30日(火)	サウンディング(事業者数:1事業者) ヒアリング(各種団体等:6団体・企業)

(2) サウンディング参加事業者からの主な意見・提案等

業務範囲	・市が提示した業務(3ページ(4)主な業務内容)は全て可能
業務開始までのスケジュール	・契約後3か月程度の準備期間が必要
業務場所	・利用しやすい場所として、広い駐車場や公共交通の結節点を希望
業務委託期間	・業務委託期間は1年でも、1年を超える期間(概ね3年)でも対応可能
事業費	・専任スタッフの人件費等を希望
その他要望	・市や商工団体との連携によるセンター機能強化のため、職員の派遣を希望

(3) 関係団体（商工団体、金融機関及び学生団体等）からの主な意見

期待する業務	・ 高い知見を持つスタッフの配置を希望 ・ 事業継続のための幅広い相談対応を希望 ・ 業種、会社規模に応じた相談対応を希望
業務場所	・ 商工団体それぞれの地域内での開設を希望 ・ 来場者の利便性（広い駐車場等）に配慮した場所を希望 ・ 学生との連携を図りやすい小杉駅周辺を希望
その他	・ センターの機能を高めるため、職員の派遣を検討

3 今後の方針

サウンディング型市場調査や関係団体等からのヒアリングを通じ、民間事業者から公募への参入意欲が示されたこと、また、公募に向けた諸条件を整理できたことなどから、次のとおり公募型プロポーザルを実施する。

4 公募型プロポーザルの概要（案）

(1) 設置場所

射水市三ヶ 2 6 0 2 番地 アルプラザ小杉 2 階スペース

(2) 支援対象

原則として市内事業者及び市内での起業・創業希望者

(3) 相談体制

相談日・時間

相談日は平日週 5 日とし、時間は午前 1 0 時から午後 5 時までを基本とすること。

人員配置

原則として、センターの中心的な役割を担う専門性の高いビジネスアドバイザーを 1 名以上配置し、常駐すること。ただし、別の手法により、常駐と同様なサービスを提供できる場合は、提案を受け付ける。その場合においても、週 2 日以上は常駐すること。

相談時間

1 事業者に対する相談時間は、原則として概ね 6 0 分とする。なお、事前予約制とする。

利用料金 無料

(4) 主な業務内容

センター開設準備

支援業務の調整

販路拡大や新商品開発など新たな取組に対する支援、DX・GX
支援、起業・創業支援等

支援機関等との連携

事業承継支援

事業者支援に伴う地域経済活性化の把握のための定量評価報告
(独自分析によるエビデンス資料添付、アウトカム指標)

情報収集及び提供業務

(5) 業務委託期間

令和6年12月から令和9年3月31日まで(準備期間含む。)

(6) 提案上限額

総額67,100千円(税込)

(内訳)	年度	上限額(案)	備考
	R6	7,700千円	準備費用を含む。
	R7	29,700千円	
	R8	29,700千円	

債務負担行為(R7~R8年度): 59,400千円

(7) 優先交渉権者の選定方法

外部委員等により構成する事業者選定委員会を設置し、事業の実施体制や関係団体等との連携方法、独自提案や事業費など提案内容を総合的に審査の上、最も優れた提案を行った事業者を優先交渉権者として選定する。

(8) 今後のスケジュール案

令和6年10月上旬	公募型プロポーザル実施要領公表
11月上旬	選定委員会による審査 優先交渉権者の選定、審査結果通知
12月上旬	議会説明、委託契約締結
令和7年 1月~	センター整備工事
令和7年 3月下旬	センターオープン

5 高等教育機関の学生との連携について

(仮称)射水市ビジネスサポートセンター内に、学生と市内中小企業等との連携を図る交流スペースを整備することとし、その運営を市内学生団体に委託することを検討している。

道の駅新湊等大規模改修工事に係る平面計画（案）について

1 大規模改修工事の概要

現・道の駅新湊は、主に物販とカフェ、農産物直売の機能を持つ「minami court」（仮称）とし、現・新湊農村環境改善センターは、レストランやファストフードコーナーからなるフードコート機能を持つ「kita court」（仮称）として整備する。

2 主な改修内容

(1) 現・新湊農村環境改善センター／kita court（仮称）

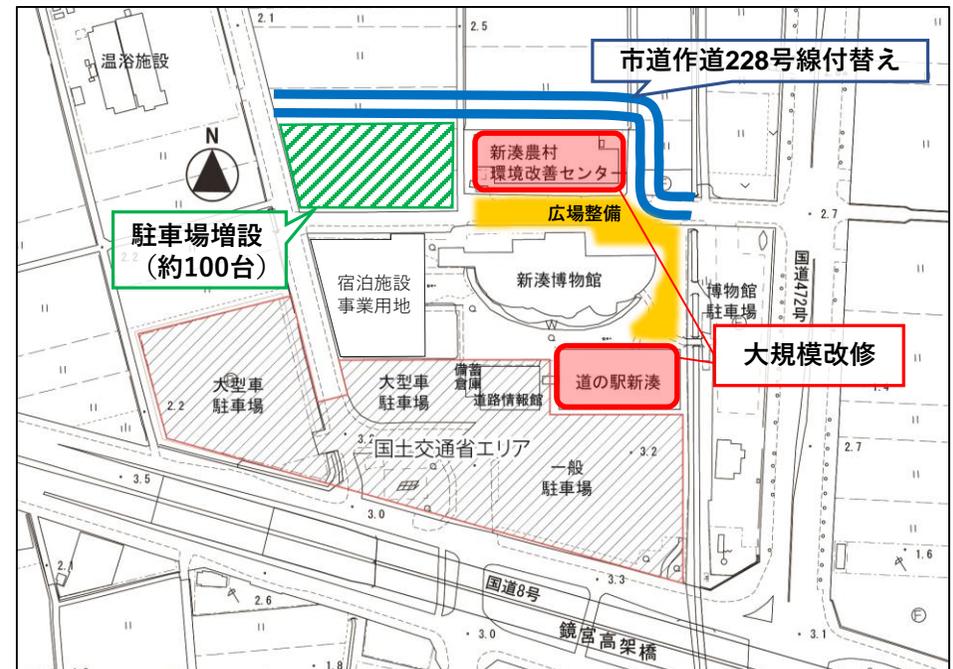
- ・ レストラン（フードコート）の設置
- ・ ファストフードコーナーの設置
- ・ レストラン（フードコート）直結のテラスの設置
- ・ キッズエリア及び授乳室の設置
- ・ 東側の既存壁を撤去し、バーベキューが可能なオープンテラスを整備

(2) 現・道の駅新湊／minami court（仮称）

- ・ 売り場及び商品倉庫面積の拡張による物販機能強化
- ・ デジタルサイネージを活用した観光案内コーナーの設置
- ・ カフェコーナーの設置
- ・ 富山湾の魚を展示する大型水槽の設置
- ・ 東側の既存壁を撤去し、エリア内の回遊性を高めるためピロティを整備

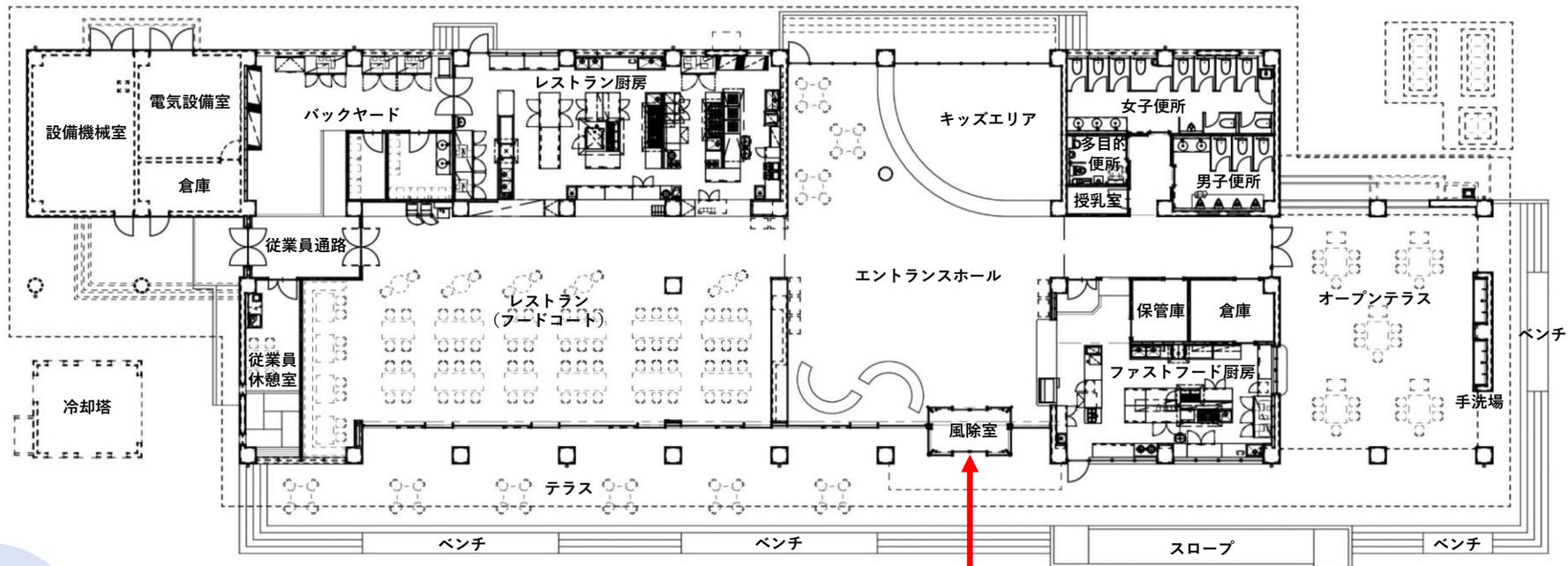
(3) その他

- ・ エリア内の回遊性を高めるため、市道作道228号線を付け替え、広場を整備
- ・ 現・新湊農村環境改善センター西側に駐車場を増設



3 平面図 (案)

(1) 現・新湊農村環境改善センター/kita court (仮称)

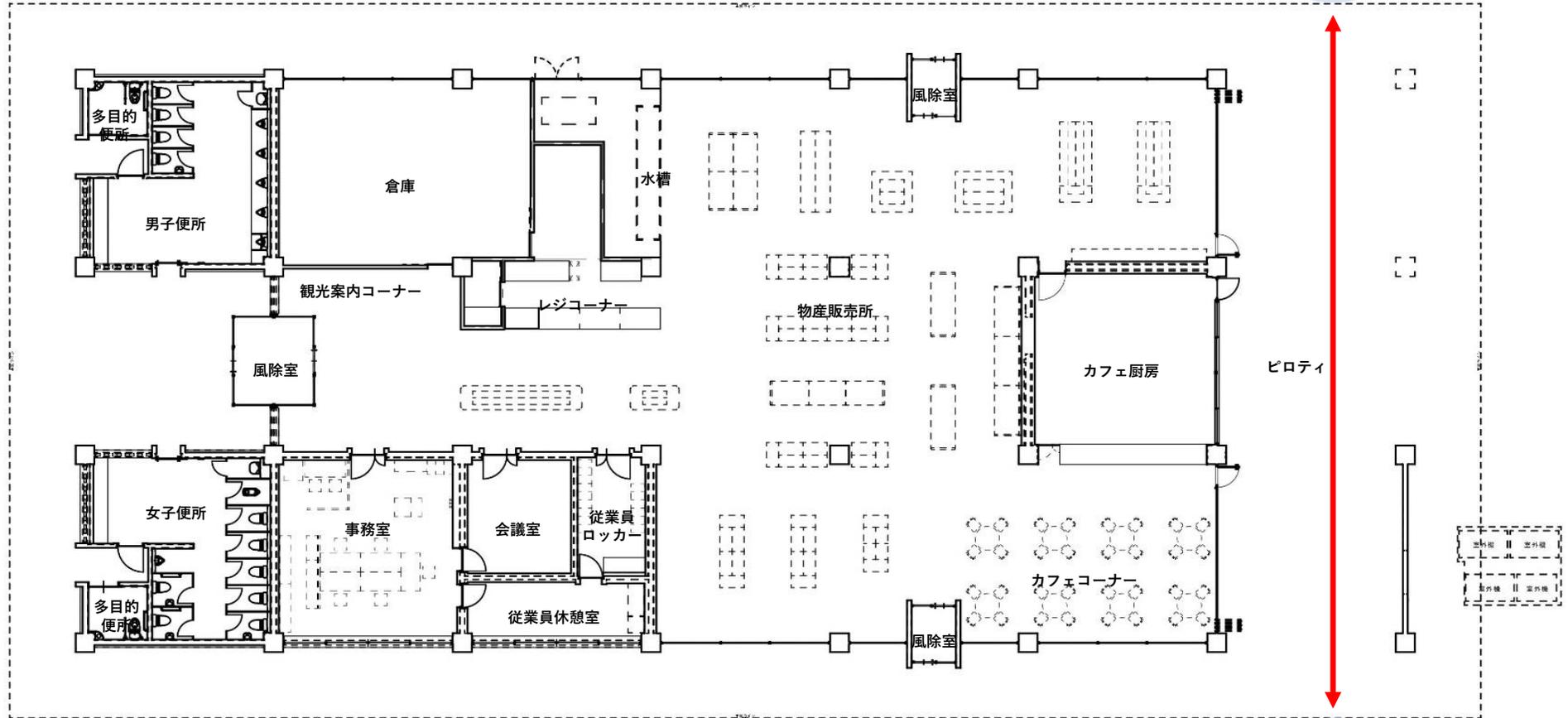


西側駐車場
(増設) へ

広場を通過して新湊
博物館及びminami
court (仮称) へ

(2) 現・道の駅新湊／minami court (仮称)

広場を通して新湊
博物館及びkita
court (仮称) へ



南側駐車場へ

4 事業スケジュール

	R6年度									R7年度								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
議案・契約等					●工事請負 契約議決										●指定管理 者議決			
新湊農改センター (工事)	農村環境改善 センターとして 供用				用途 廃止					道の駅 仮設営業								
道の駅新湊 (工事)	道の駅 通常営業																	
市道付替等										市道付替等工事								
宿泊施設	資材高騰等の影響により着工に遅れ ※宿泊施設の開業時期は調整中																	

令和5年度射水市水道事業の決算見込みについて

1 概況

水道事業では、将来へ持続可能な事業運営を確立するため、水道事業ビジョンに掲げた『未来へつなぐ安全安心の水道』の実現に向け、経営基盤の強化に取り組んでいます。

令和5年度においては、近年の水需要の減少を踏まえ、効率的な事業運営に努めるとともに、老朽化する水道管路の更新に注力しました。能登半島地震では配水管漏水が数件発生したものの、断水件数を最小限に抑えた迅速な復旧を実施しており、今後とも災害に強い強靱な水道の実現に向けた対策を推進してまいります。

2 業務量

項目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
給水人口	89,998人	90,370人	372人
給水栓数	36,533栓	36,239栓	294栓
配水量	10,495,617 m ³	10,512,731 m ³	17,114 m ³
有収水量	9,781,681 m ³	9,877,605 m ³	95,924 m ³
有収率	93.2%	94.0%	0.8ポイント
1日最大配水量	40,964 m ³ (1月2日)	43,074 m ³ (1月27日)	2,110 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
水道事業収益	1,983,355	2,002,701	19,346	水道事業費用	1,720,181	1,691,175	29,006
営業収益	1,848,227	1,858,657	10,430	営業費用	1,615,709	1,584,455	31,254
営業外収益	135,128	142,651	7,523	営業外費用	104,472	106,720	2,248
特別利益	0	1,393	1,393	特別損失	0	0	0

当年度純利益263,174千円(対前年度比較48,352千円の減)

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
資産	21,817,641	21,425,335	392,306	負債	9,495,124	9,378,692	116,432
固定資産	20,238,664	19,621,578	617,086	固定負債	7,574,621	7,613,673	39,052
流動資産	1,578,977	1,803,757	224,780	流動負債	853,609	864,713	11,104
				繰延収益	1,066,894	900,306	166,588
				資本金	11,488,647	11,191,947	296,700
				剰余金	833,870	854,696	20,826
				資本剰余金	0	0	0
				利益剰余金	833,870	854,696	20,826
資産合計	21,817,641	21,425,335	392,306	負債・資本合計	21,817,641	21,425,335	392,306

(3) 剰余金処分(案) 利益剰余金内訳(減債積立金311,000千円、未処分利益剰余金522,870千円)

令和5年度射水市水道事業会計未処分利益剰余金522,870,323円のうち259,000,000円を資本金に組み入れるとともに、263,000,000円を減債積立金に積み立て、残金870,323円を繰り越すものとする。(繰越利益剰余金)

4 資金不足比率

%

令和5年度射水市下水道事業の決算見込みについて

1 概況

下水道事業では、下水道事業ビジョンに掲げる「未来に続く確かな水環境の創造」に基づき、効率的な維持管理や効果的な建設改良を進めることで、次代に引き継ぐ健全な経営環境の実現に向けて取り組んでいます。

令和5年度においては、身近な生活インフラである下水道施設を恒久的に運営するため、老朽管渠の改築やポンプ施設の更新や、近年の局地的な豪雨による浸水被害に対して、市民の安全・安心を確保するため、作道第1排水区、枇杷首排水区及び小島排水区などの雨水対策事業に積極的に取り組むとともに、能登半島地震による被害の早期復旧に向け、被害調査及び応急修繕に取り組みました。

2 業務量

項目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
水洗化人口	85,719 人	86,027 人	△ 308 人
接続件数	34,689 世帯	34,090 世帯	599 世帯
処理水量	11,163,097 m ³	11,577,171 m ³	△ 414,074 m ³
有収水量	8,336,445 m ³	8,472,625 m ³	△ 136,180 m ³
有収率	74.7 %	73.2 %	1.5 ポイント
1日最大処理水量	96,410 m ³ (7月13日)	55,737 m ³ (8月21日)	40,673 m ³

3 財務諸表

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
下水道事業収益	3,928,107	3,959,855	△ 31,748	下水道事業費	3,575,306	3,517,508	57,798
営業収益	1,903,320	1,807,707	95,613	営業費用	3,232,947	3,134,002	98,945
営業外収益	2,023,601	2,116,097	△ 92,496	営業外費用	342,359	383,506	△ 41,147
特別利益	1,186	36,051	△ 34,865	特別損失	0	0	0

当年度純利益352,801千円 (対前年度比較89,546千円の減益)

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較	科目	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
資産	58,212,607	59,461,577	△ 1,248,970	負債	43,843,646	45,832,551	△ 1,988,905
固定資産	56,824,006	58,293,457	△ 1,469,451	固定負債	18,519,711	20,217,515	△ 1,697,804
流動資産	1,388,601	1,168,120	220,481	流動負債	2,769,950	2,533,089	236,861
				繰延収益	22,553,985	23,081,947	△ 527,962
				資本金	13,127,209	12,234,445	892,764
				剰余金	1,241,752	1,394,581	△ 152,829
				資本剰余金	209,139	209,139	0
				利益剰余金	1,032,613	1,185,442	△ 152,829
資産合計	58,212,607	59,461,577	△ 1,248,970	負債・資本合計	58,212,607	59,461,577	△ 1,248,970

(3) 剰余金処分(案) ※利益剰余金内訳 (減債積立金679,028,961円、未処分利益剰余金353,583,587円)

令和5年度射水市下水道事業会計未処分利益剰余金794,910,932円のうち441,327,345円を資本金に組み入れるとともに、353,000,000円を減債積立金に積み立て、残金583,587円を繰り越すものとする。(繰越利益剰余金)

4 資金不足比率

— %

作道第1排水区雨水対策施設整備事業の工事請負契約について

1 事業目的

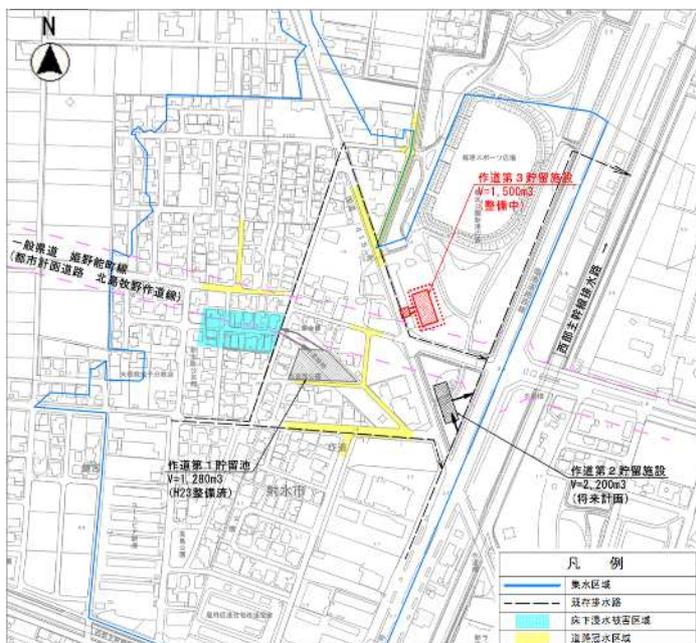
作道第1排水区(作道(新生町)地区)は、大雨により低地部において床下浸水や道路冠水の浸水被害がたびたび発生している。このことから、当地区の雨水対策として、既設排水路の水位を低下させるため、雨水を一時的に貯留する雨水調整池を3か所整備する計画である。このうち、第1貯留池については平成23年に整備が完了しており、今回は2施設目となる第3調整池(地下式)を県民公園「新港の森」駐車場敷地内に整備し、浸水被害の軽減を図るものである。

2 工事請負契約の内訳

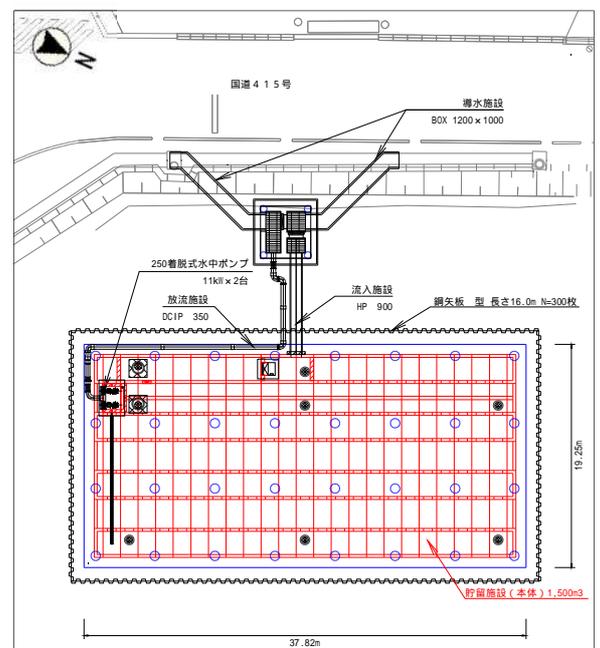
工事名 : 公共下水道(雨水)作道第1排水区雨水調整池整備(その3)工事

契約金額	工事受注者	工期	主な工事内容
187,000,000円 (うち消費税等 17,000,000円)	竹沢建設・四方組公 共下水道(雨水)作道 第1排水区雨水調整 池整備(その3)工事 共同企業体	令和6年 8月8日 ~ 令和7年 2月25日	プラスチックブロック(本体)据付 N=92本 プラスチックブロック(端面)据付 N=14本 プラスチックブロック(ふた)据付 N=74枚 作業土工 一式 仮設材撤去工 V=82.9t

3 位置図



4 計画平面図



5 計画断面図

